

希 翔

8期生



令和元年 6月12日
西仙北中学校 3年部通信 NO. 14

総体までもう少し

放課後、応援団幹部や生活文化部の皆さんが応援練習をしています。太鼓の音と大きな声で練習しています。その声を聞きながら運動部の皆さんは総体に向けた練習に励んでいます。応援団は、他の人のために一生懸命声を出して選手を励ましてくれます。その声がどれだけ選手の力になるのか経験したものしか分からないと思います。本当にありがたいものなのです。純粹に他の人を励ます。とても崇高な行為に思います。皆さんが頑張っている姿は、友達や保護者の方が見ています。どうかチーム一丸となって目標を達成してほしいと思います。保護者の皆様も、運動部だけではなく、文化部の皆さんの頑張りも見て、声をかけてあげてください。

佐々木桃子(バレー部)

春季大会や今までの練習試合から、自分の課題をたくさん見つけてきました。練習では、その課題を克服するために、一球一球と向き合ってプレーをしています。残り少ない練習期間では、自分がチームのためにできること、自分の武器を見つけて、無駄な練習にならないように、集中して取り組みたいです。総体では、絶対に夢を実現させます。本気でプレーをして、一球、一試合に悔いを残さないようにしたいです。

細川琉(卓球部)

三年間で一番大切な大会だと思うので、今まで積み上げてきた練習の成果を出し切りしたいと思います。そして自分のベストな結果を残せるようにしたいです。

小笠原悠翔(バドミントン)

今回の総体は、三年間やってきた練習の集大成だと思います。今までの練習を信じて目標である打倒美郷中を達成したいです。

菊地凜(テニス部)

郡総体では、最後までボールを追いかけ、一勝でも勝てるようにしたいです。そして全県大会に出場したいです。それまで、練習を真剣にやっていきます。

鈴木洸誠(バスケット部)

私は小学校からバスケットをしてきました。小学校の時は、今の3年生5人もう3人いました。今一緒に頑張っている5人は、小学校の頃からベストメンバーでした。もうこの5人とは、バスケットができなくなるので、一日一日を大切にしようと思います。

ある選手の話

「全国大会に行くべ」などと話をして3年目、ようやく決勝の舞台に上がり、夢をつかむところまできた安堵感。最後の試合という緊張感、いつものプレーができないもどかしさ、自分のためにみんなの夢をつぶしてしまう恐怖・・・落ち着いて試合はできませんでした。でも友人の「馬鹿たれ～」の一言で周囲が見えるようになり、人の声もしっかり聞こえるようになりました。前半は一進一退のゲーム展開でどうか同点、後半残り5分、1点勝っていました。時間が進み、残り3分同点に追いつかれ、残り2分30秒また1点勝ち、両チームとも疲労はピーク、この後の自分のプレーはほとんど覚えていません。ようやく終わりの笛が鳴り、気づいたら歓声・・・。「あの時間と空間をチームメイトと共有できたこと」「勝負の怖さ」この二つがこの大会での財産となりました。試合をすることは簡単です。試合に勝つには、恐怖と戦わなければならない。恐怖に勝つには日頃の練習と心のあり方がとても大切です。

お願い

卒業式DVD購入申し込みについて
申し込み締め切りが6月14日となっています。「購入する・しない」を書いて全員提出することになっています。まだ提出されていない場合はよろしくお祈りします。

お知らせ

秋田南高校体験入学について
期 日 7月25日(木)
〆切り 7月 2日(火)
校内〆切 6月25日(火)